

お父さんお母さんのための 日本経済入門

土居 丈朗

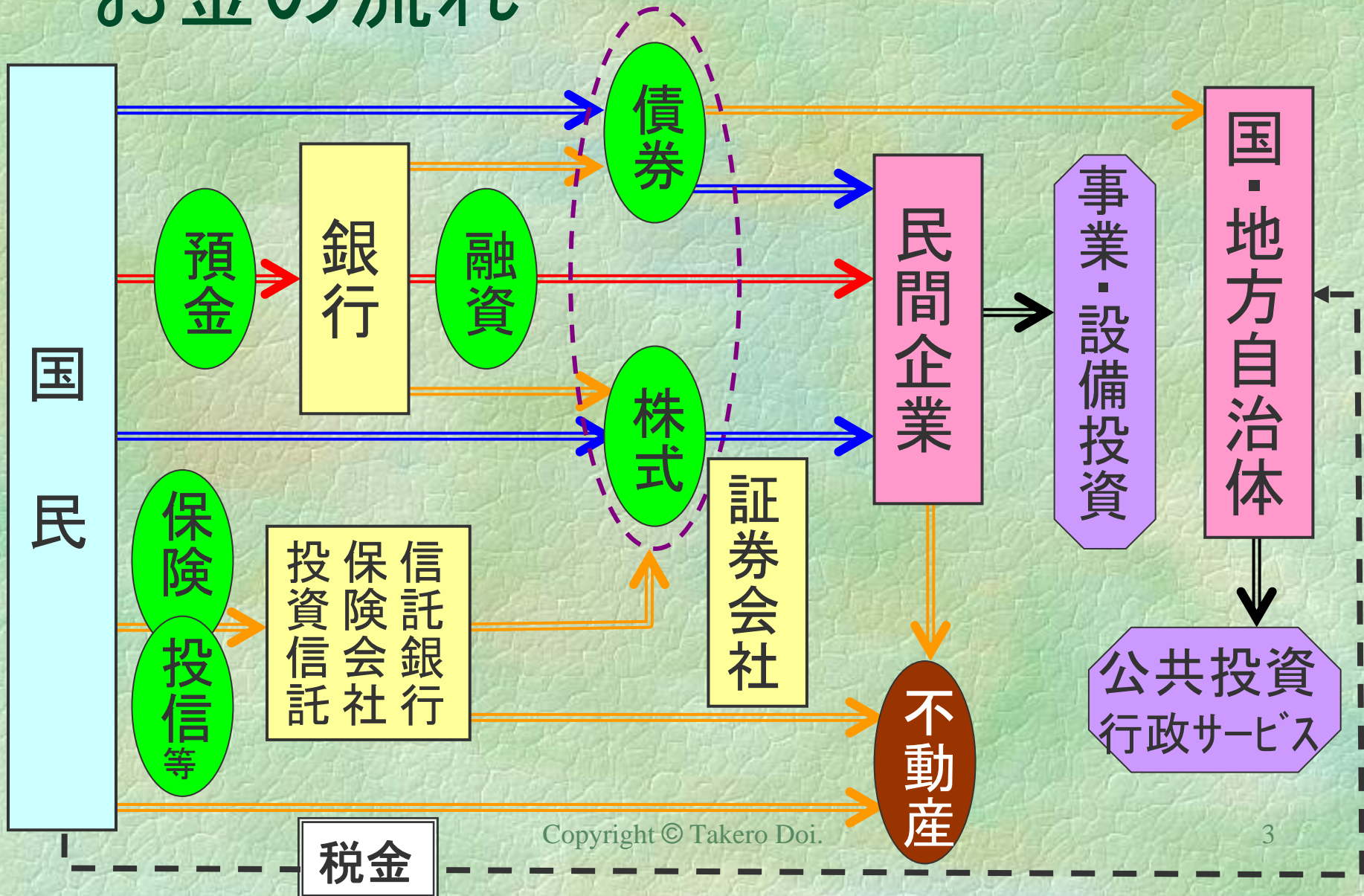
(慶應義塾大学経済学部)

<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/tdoi/>

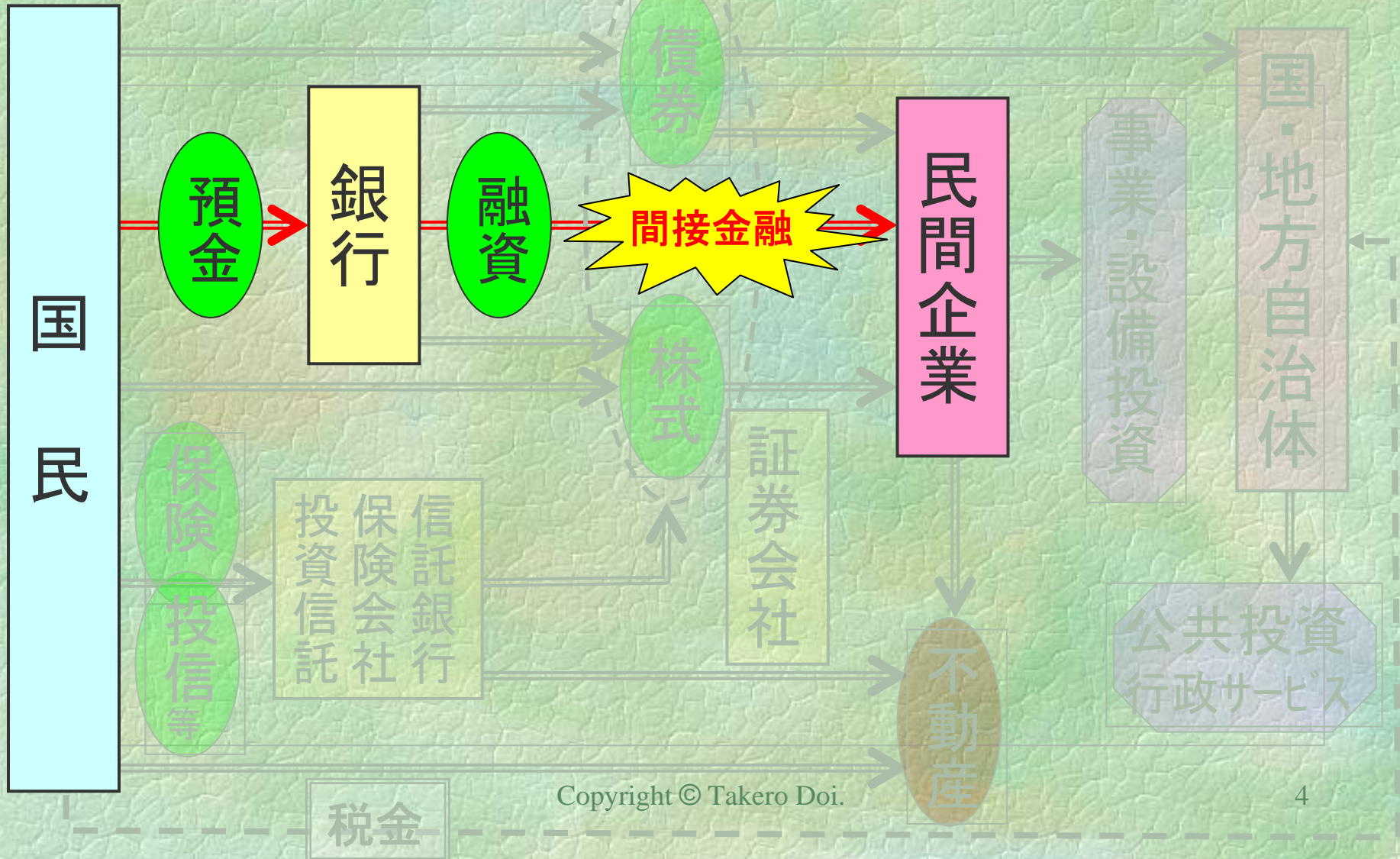
概要

- お金の流れから見る日本経済
家計の資産運用...預金、株式、債券、保険 etc
が日本の金融市場の動きを決めている
- 金利が上がるとはどういうことか
- 国債の二面性
資産の運用先...個人向け国債など
国の借金...いつかは返済＝増税!?
- 今後の金利上昇に備えて

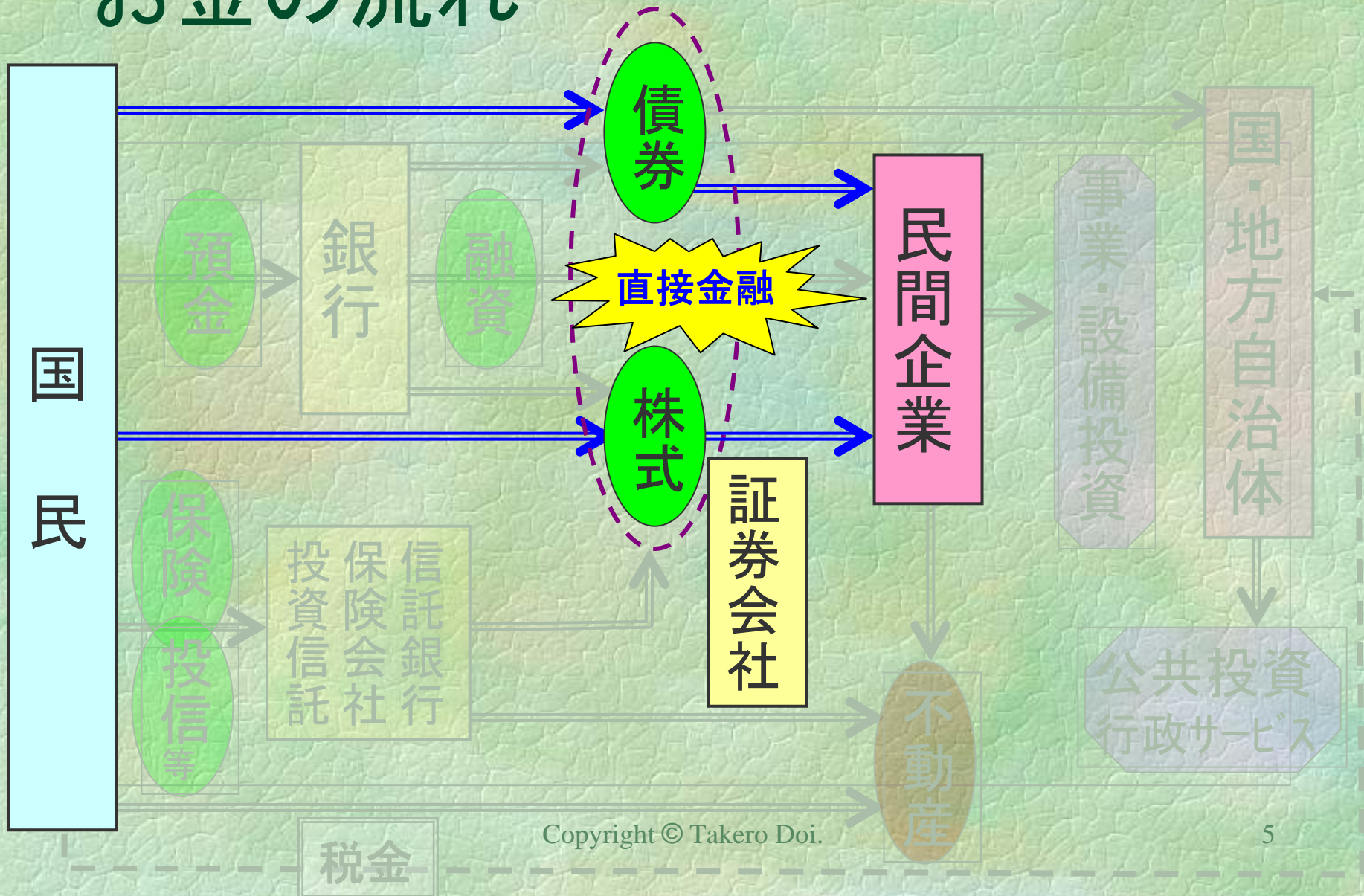
お金の流れ



お金の流れ



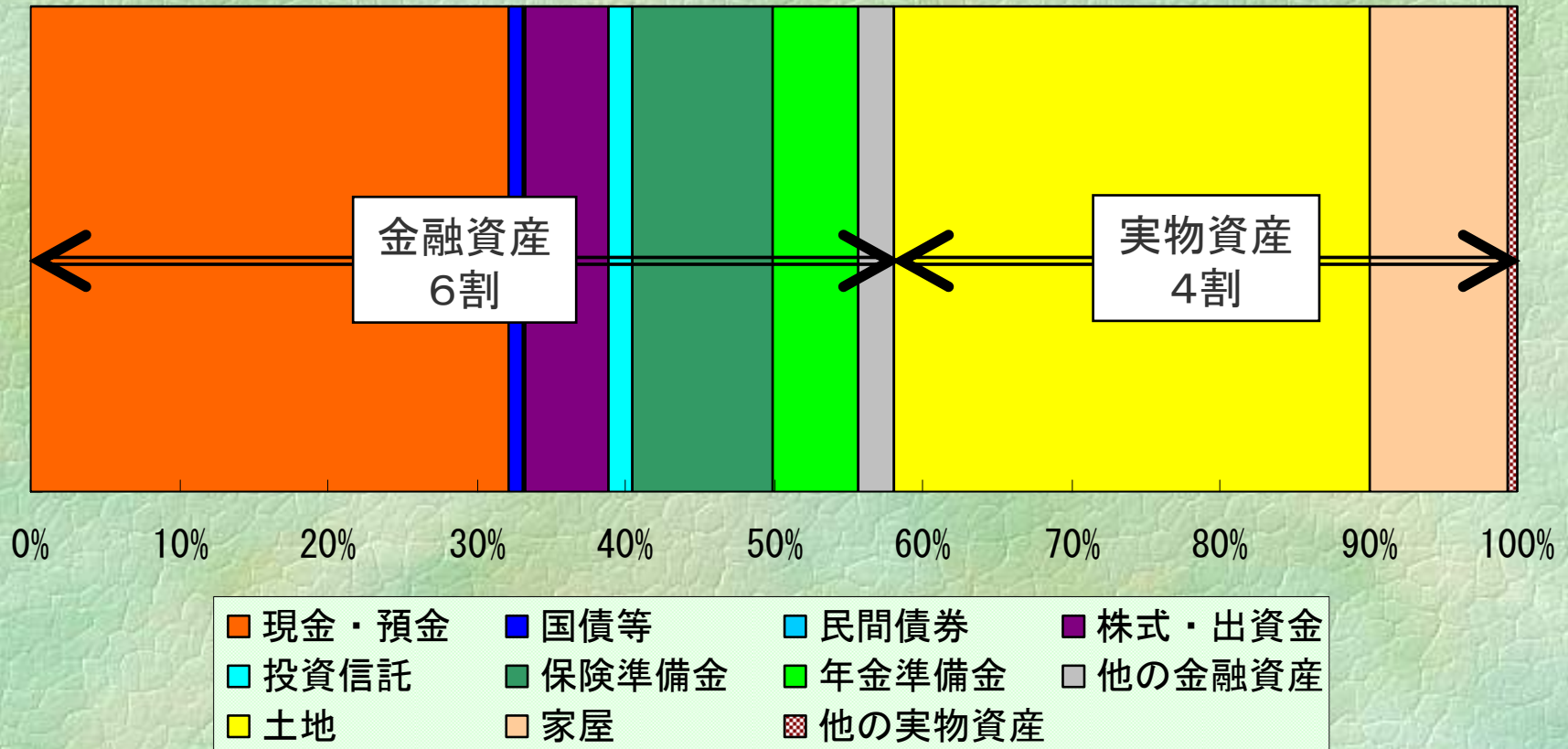
お金の流れ



日本の家計の資産構成

(2004年末)

家計の全資産
約2600兆円

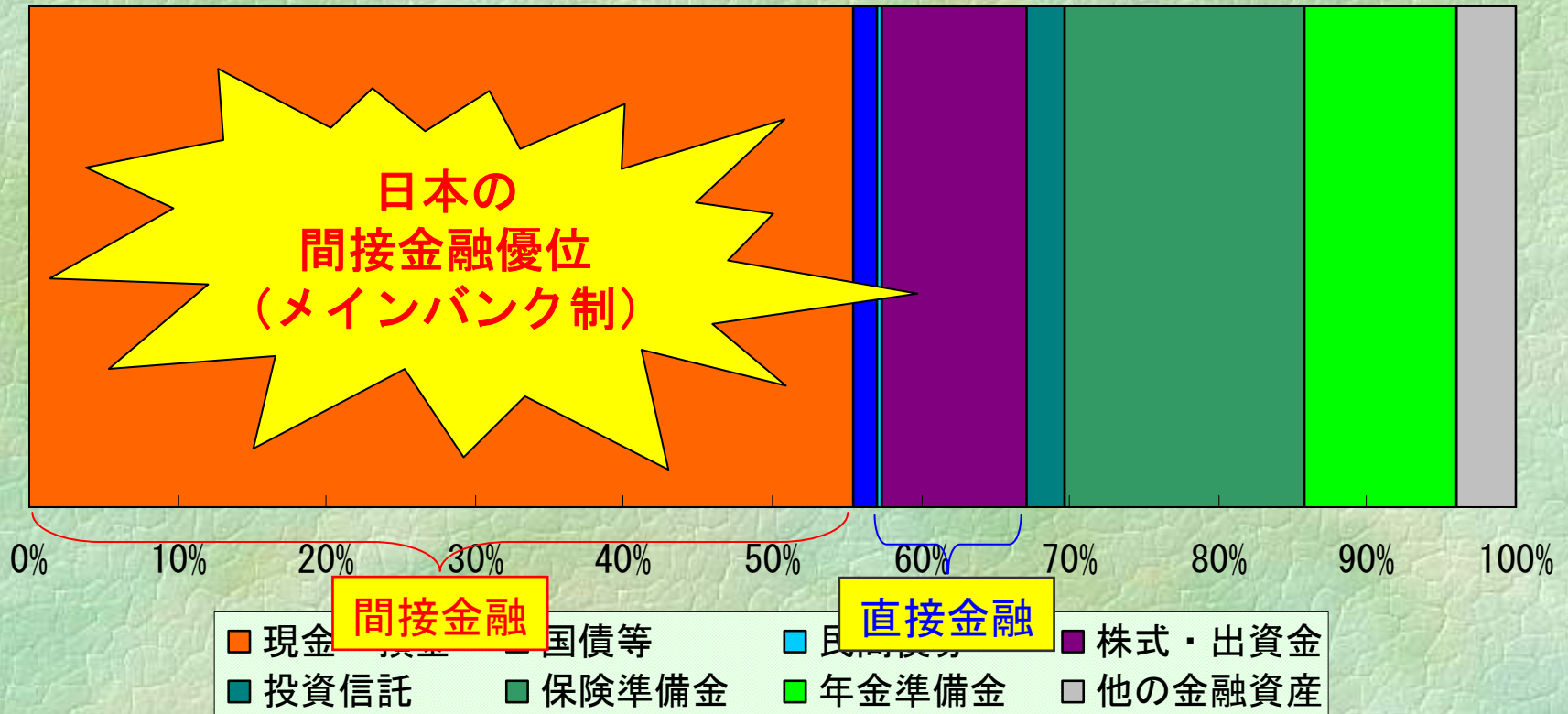


資料: 内閣府『国民経済計算年報』、日本銀行「資金循環統計」

日本の家計の金融資産構成

(2004年末)

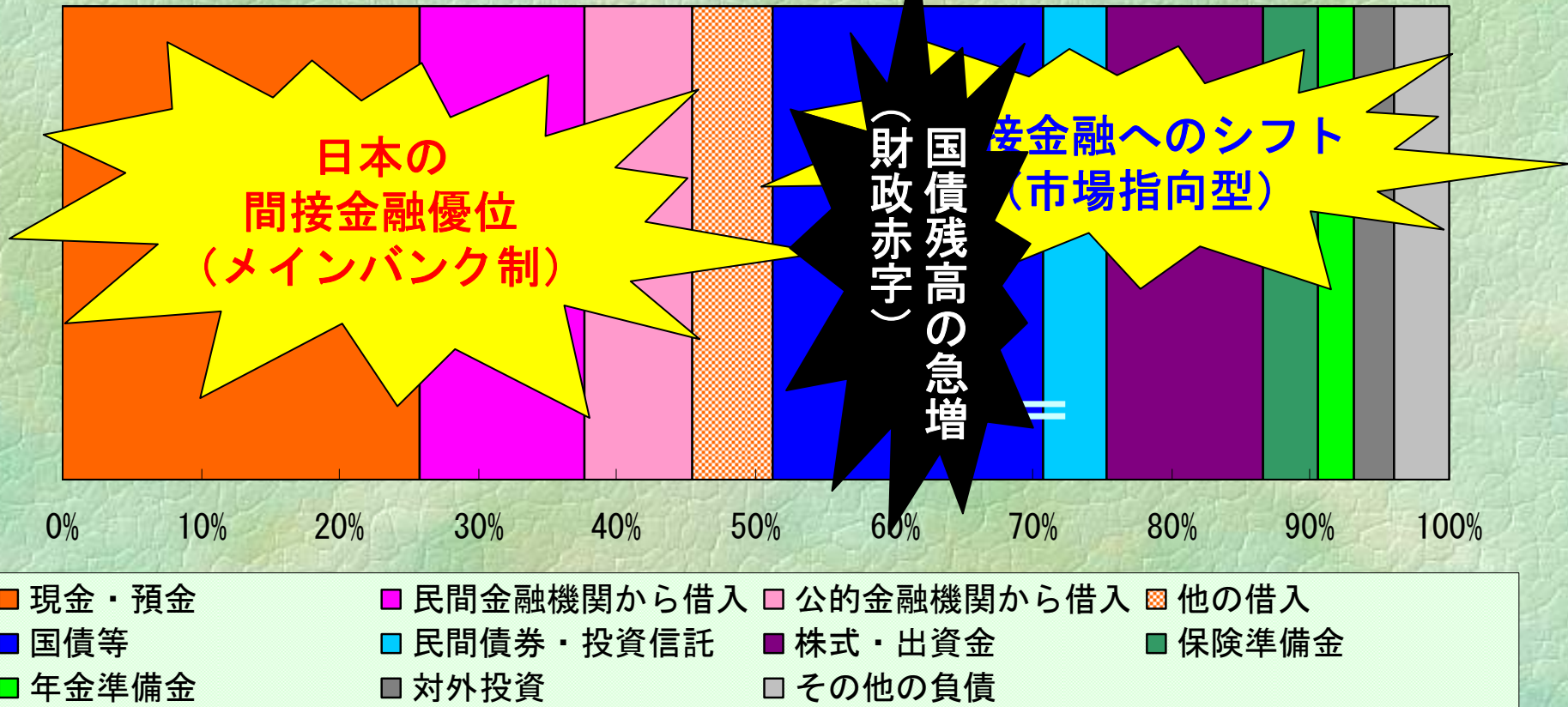
家計の金融資産
約1400兆円



資料: 内閣府『国民経済計算年報』、日本銀行「資金循環統計」

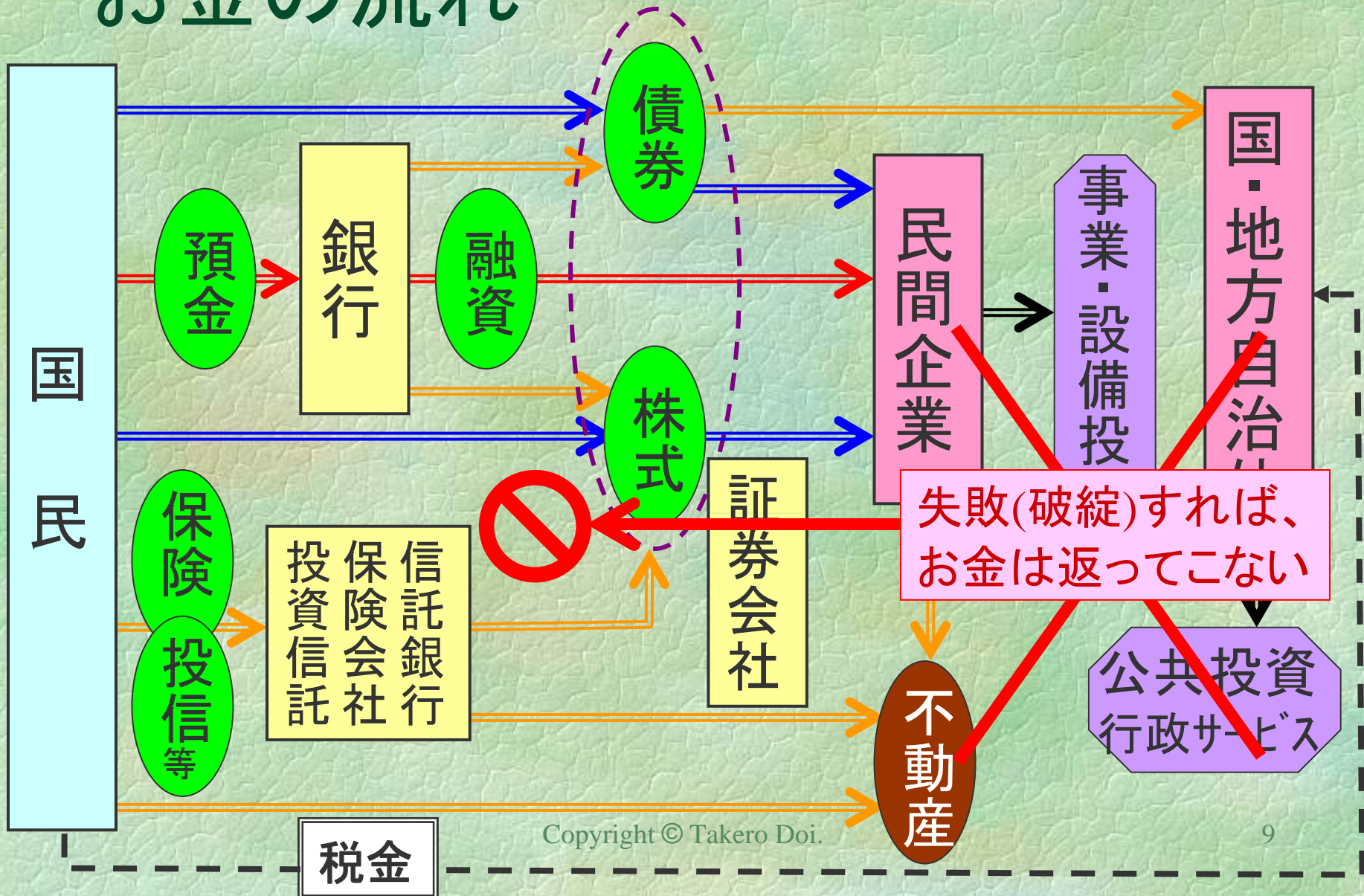
日本経済全体の負債構成

(2004年末)



資料:内閣府『国民経済計算年報』、日本銀行「資金循環統計」

お金の流れ



金利(利回り)が高いとは...

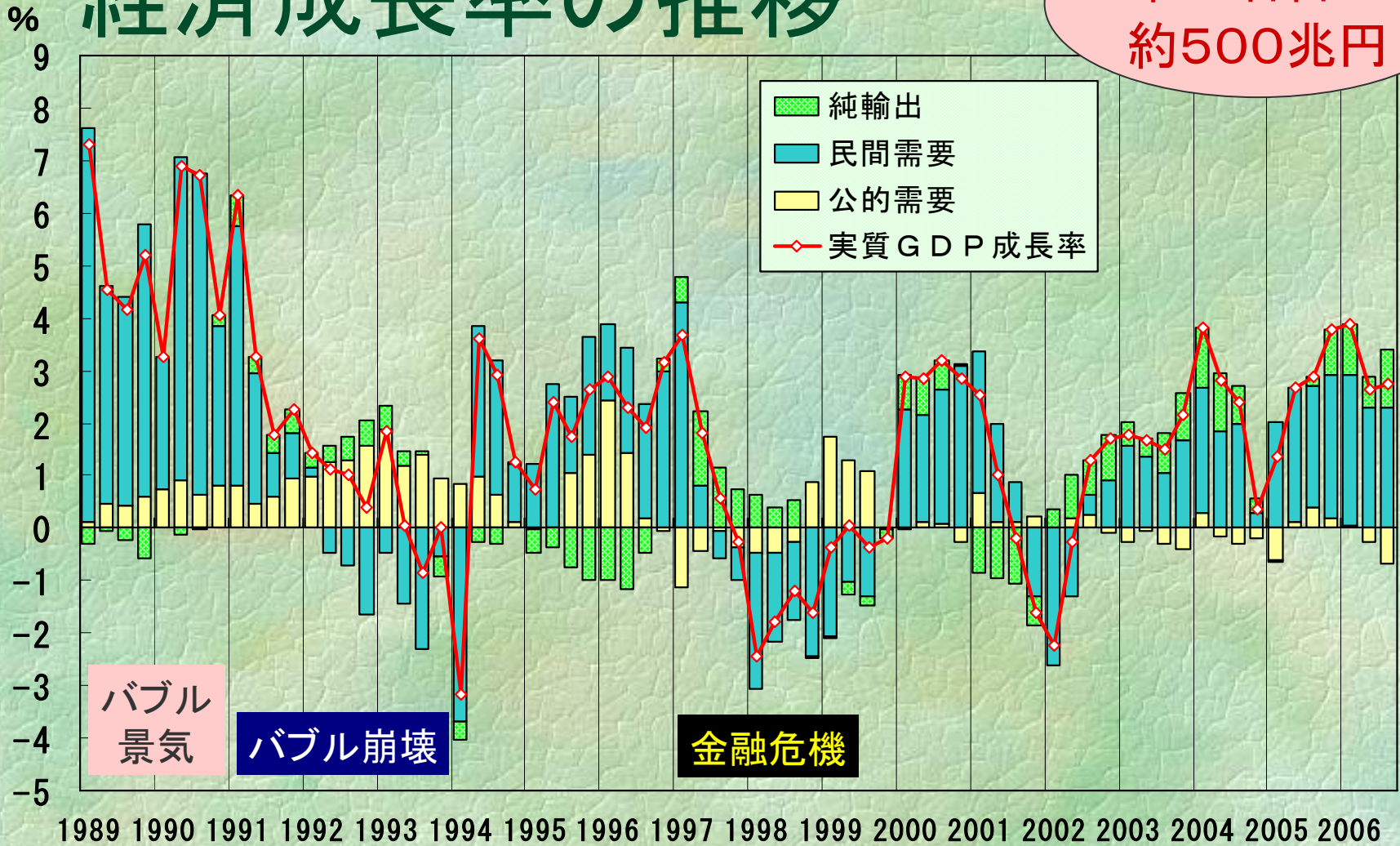
- 金利が高い＝借りる人が高い金利を払う
- 高い金利を払えるだけの裏づけ＝利益
- 高収益の機会増
 - 多少高い金利でも借りて事業拡大したい
 - 金利上昇
- 民間企業が大いに儲かるとき、高金利
- では、民間企業が儲かるときとは...
 - 経済成長率(＝GDP増加率)が高い時

GDP(国内総生産)

- 国内で、1年間にどれだけ付加価値が生じたか
 - 民間需要 (利益) 公的需要
- $GDP = \text{民間消費} + \text{民間投資} + \text{政府支出} + \text{輸出} - \text{輸入}$
 - 純輸出
- 消費が多かったり、設備投資が多かったり、政府の支出が多かったり、輸出が多ければ、国内作ったものがたくさん売れるから儲かる

経済成長率の推移

日本の名目GDP
約500兆円



資料: 内閣府『国民経済計算年報』

企業はどうお金を工面するか

- 資金が必要な企業が資金を調達する方法

- 銀行等からの借入(融資)
- 社債
- 株式

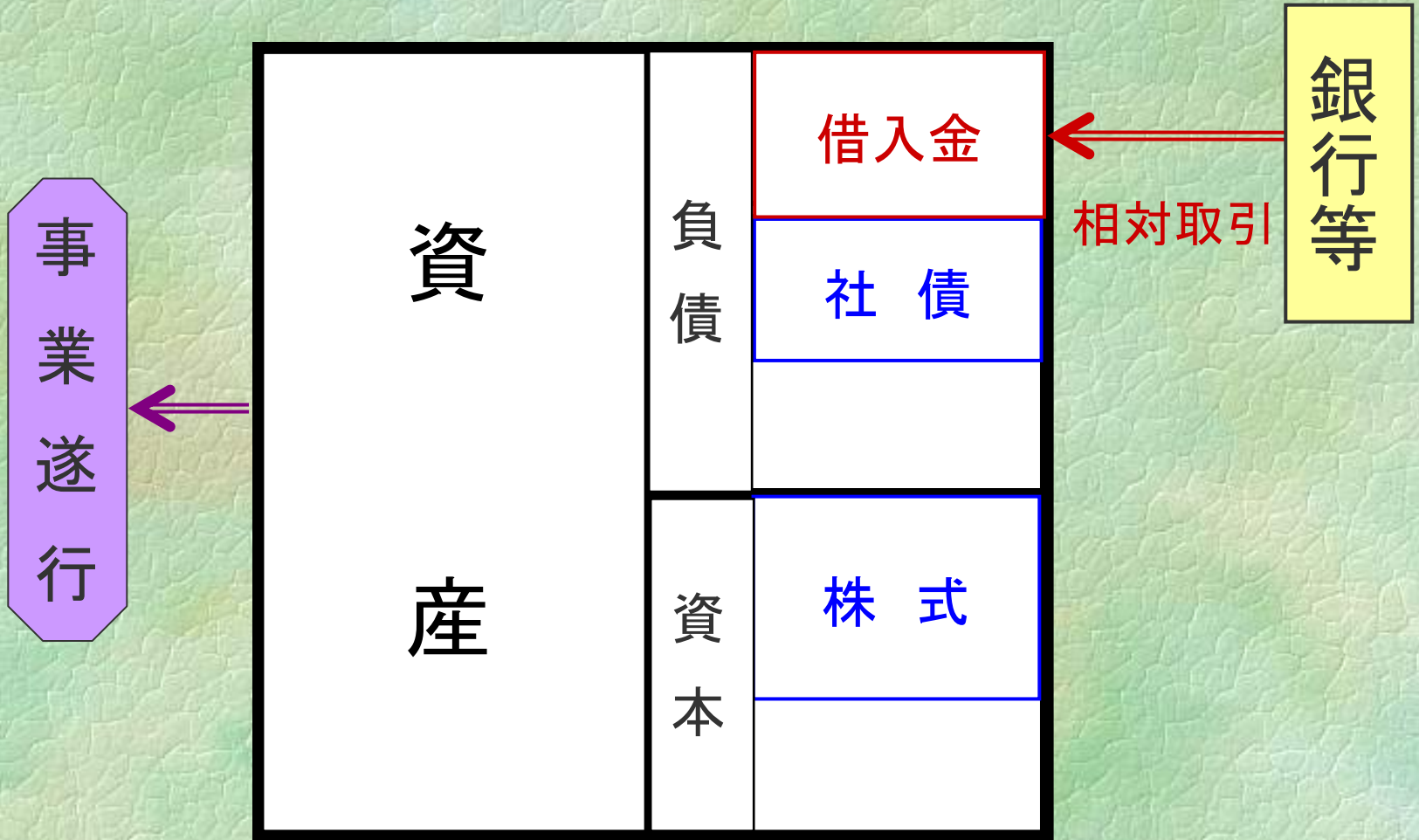
会社が存続する
限り返す必要の
ないお金
< **資本** >

出資者に
配当 を支払う

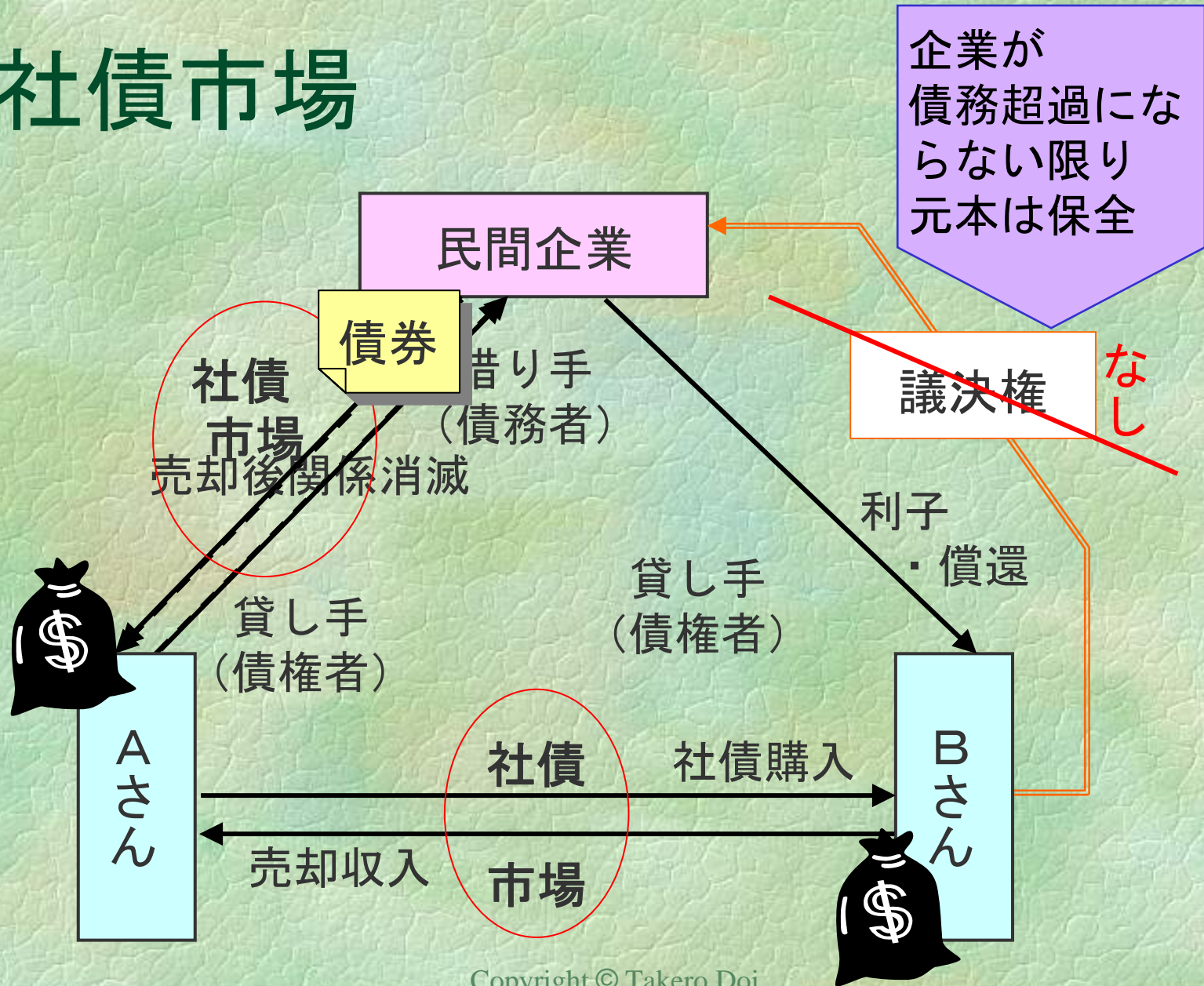
期限がきたら返
さなければなら
ないお金
< **負債** >

貸し手(債権者)に
金利 を支払う

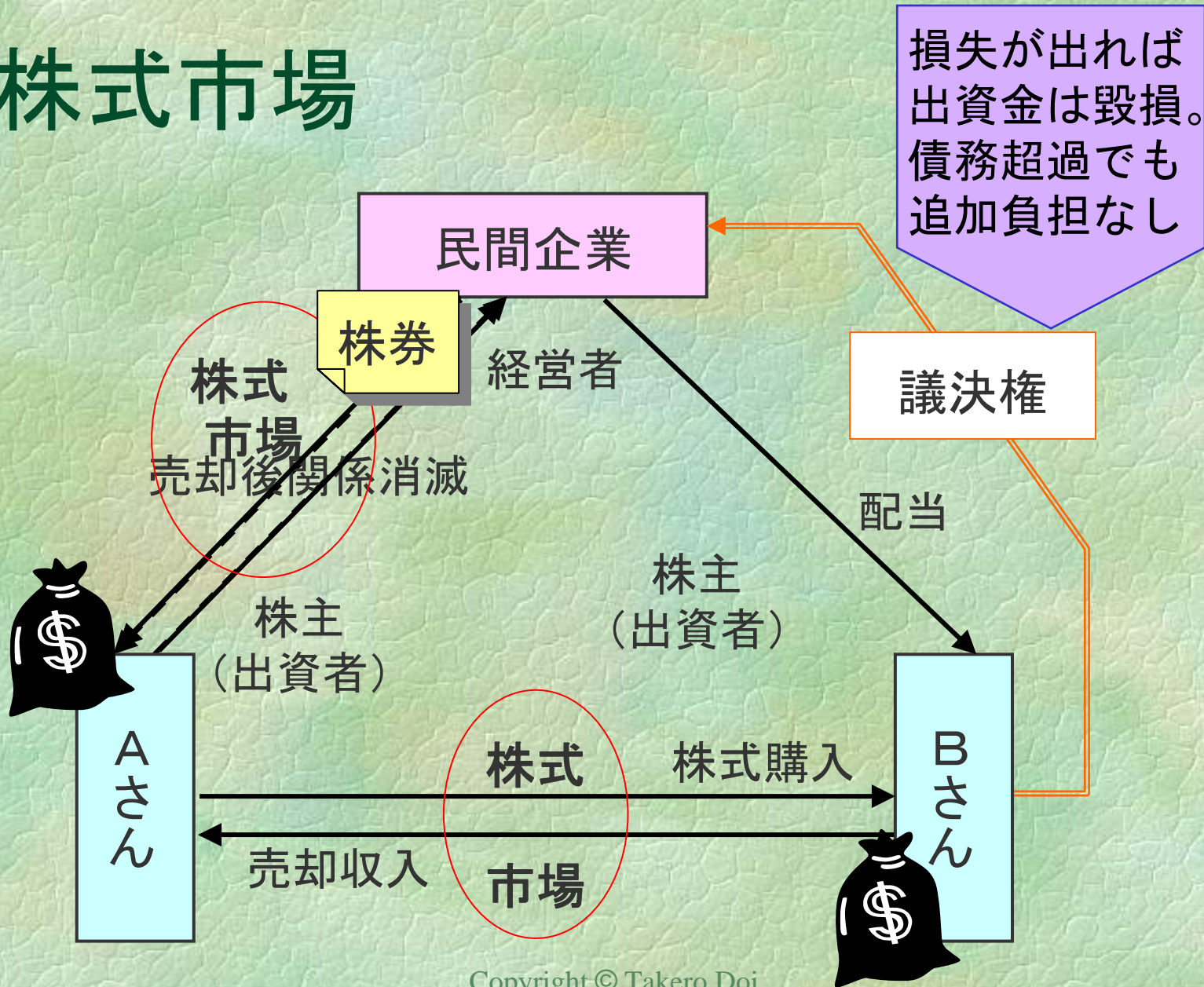
民間企業のバランスシート



社債市場



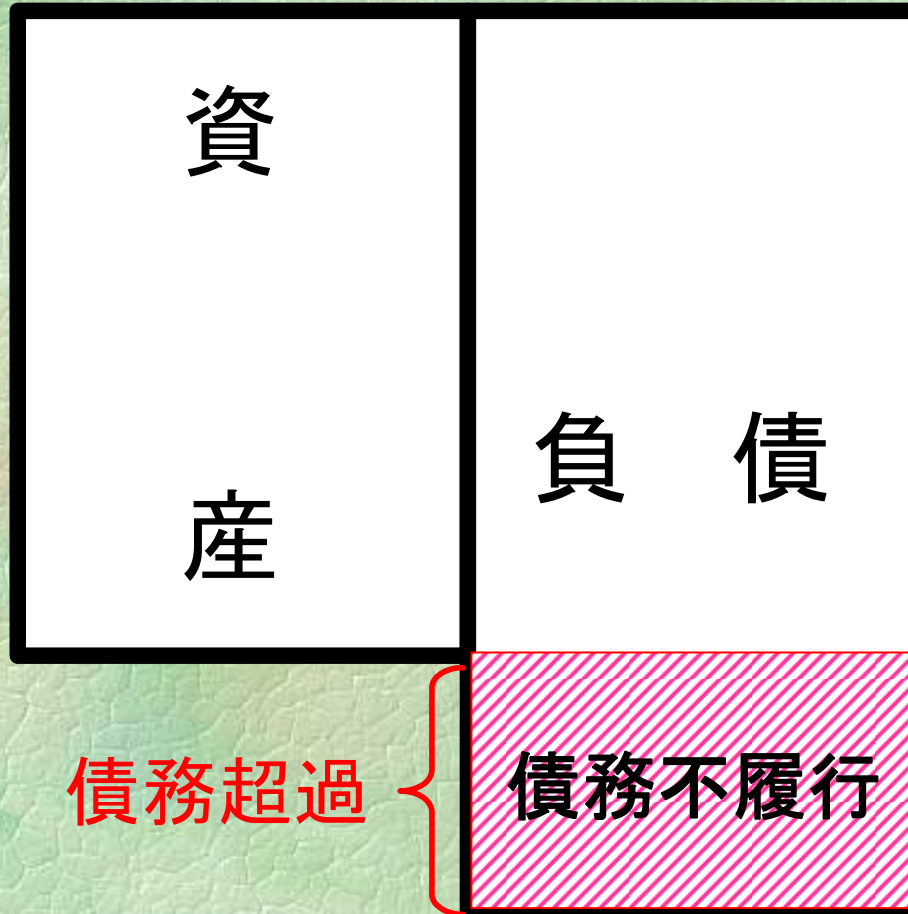
株式市場



社債と株式の違い

	リターン	経営権	損失発生時(債務超過でない)	債務超過時
社債	利子 定まった額	ない	元本保全	債務超過額に応じて元本が戻らない (債務不履行)
株式	配当 企業の利益により変動	ある	出資金が毀損	出資金以上に損しない (有限責任)

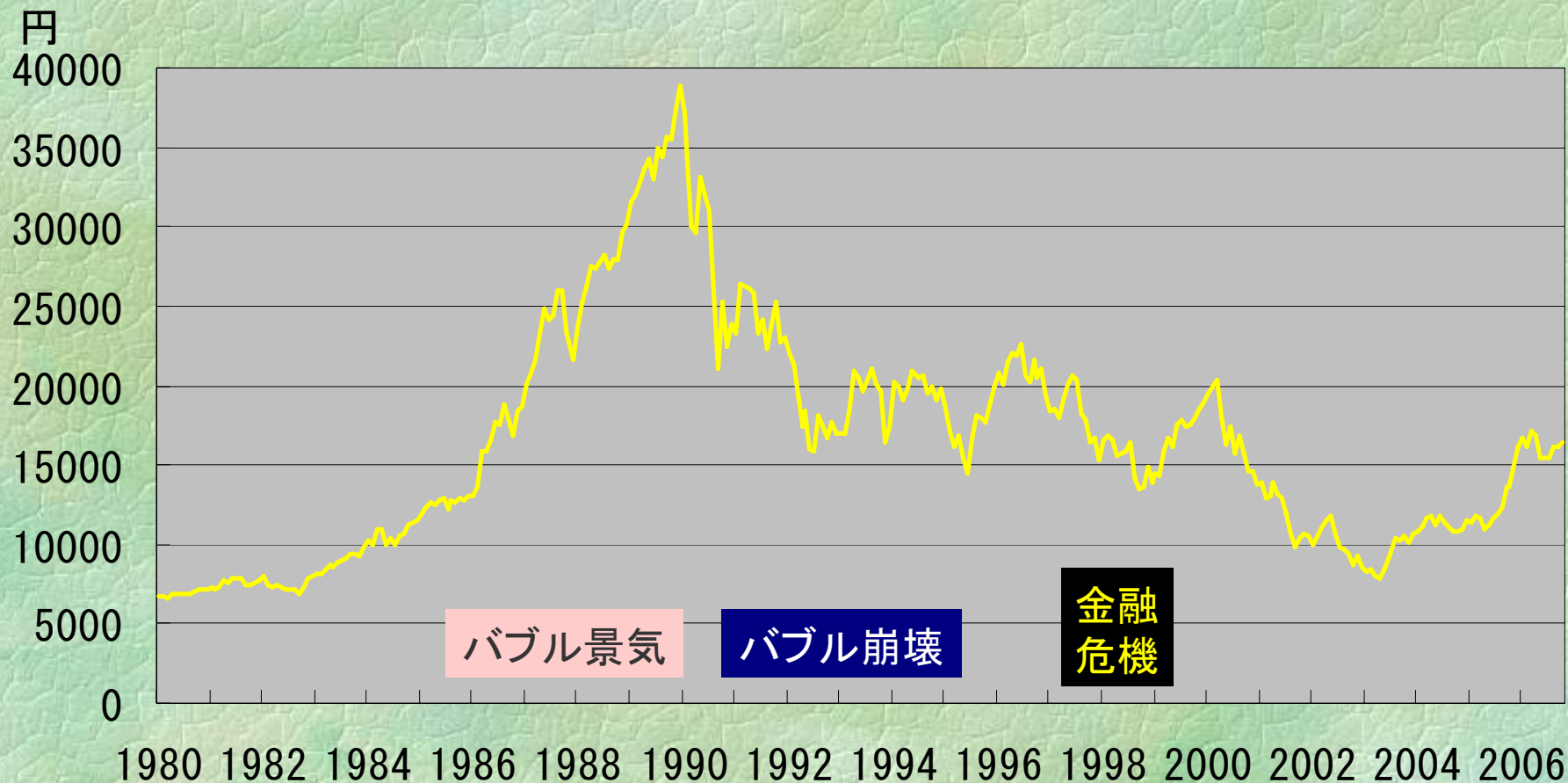
債務超過の状態



社債と株式の違い

	リターン	経営権	損失発生時(債務超過でない)	債務超過時
社債	利子 定まった額	ない	元本保全	債務超過額に応じて元本が戻らない (債務不履行)
株式	配当 企業の利益により変動	ある	出資金が毀損	出資金以上に損しない (有限責任)

日経平均株価(1980~2006年)



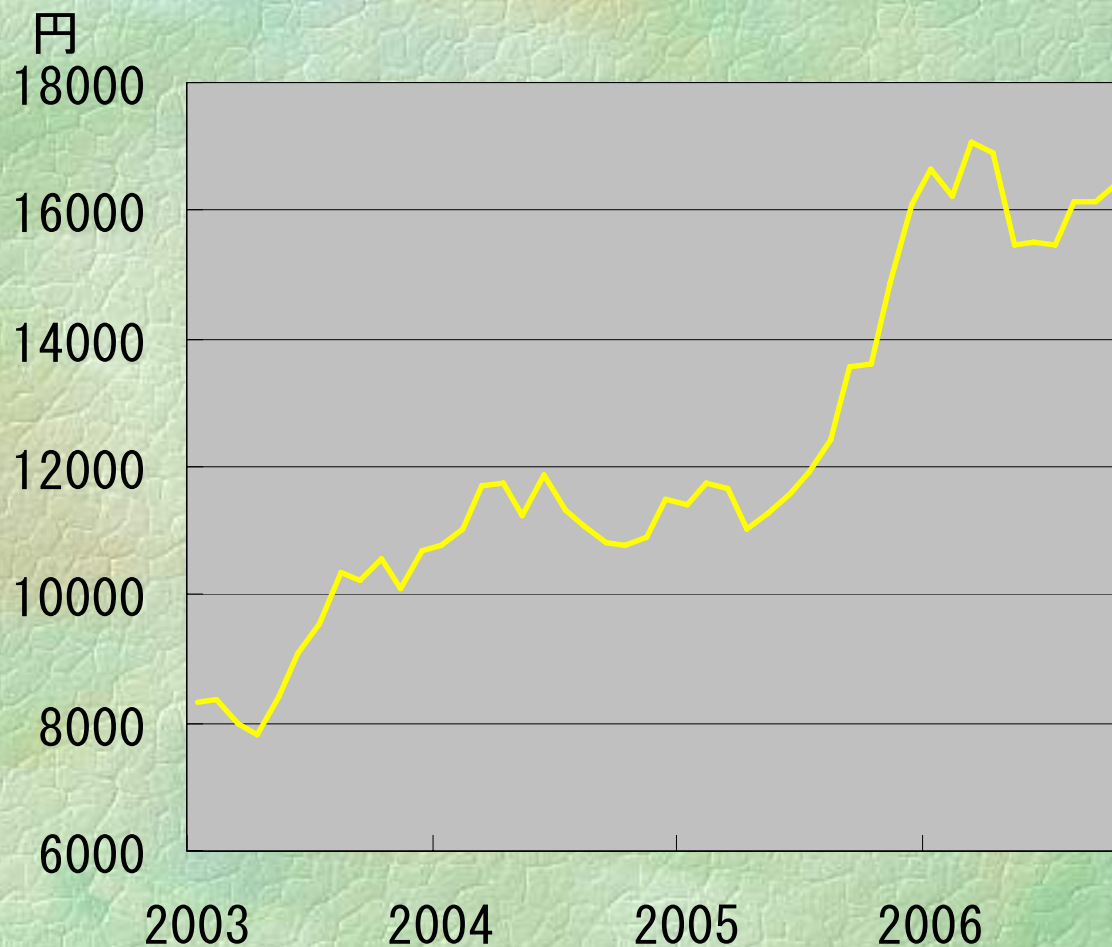
バブル景気

バブル崩壊

金融
危機

(資料) 日本銀行『金融経済統計月報』

日経平均株価(2003～2006年)



(資料)日本銀行『金融経済統計月報』

企業買収の流行

- ライブドアvsフジテレビ
ニッポン放送をめぐる攻防
- 村上ファンドvs阪急
阪神電鉄をめぐる攻防
- 王子製紙vs北越製紙
北越製紙が対象、日本製紙が加担
- AOKIvsフタタ
フタタが対象、コナカが加担

買収される企業の状態

不良債権処理
時代の名残

近年急に高収益

現金

負債

借入金

社債

貸し渋り

銀行等

この企業の株を買収だ！

遂行

他の資産

資本

株式

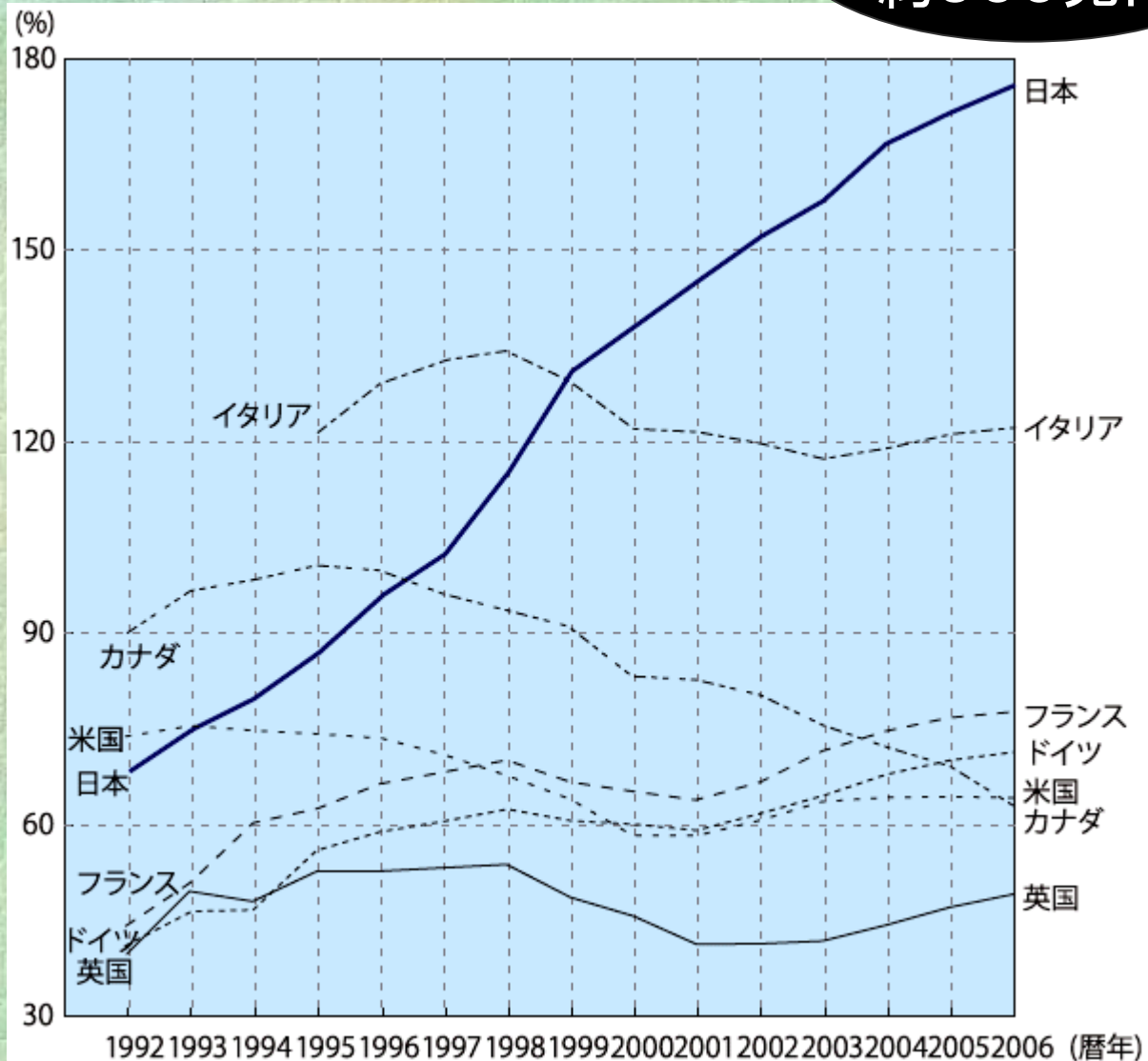
えん坑
配当せず

昔の名残で
株価安値

国債残高の累増

日本の政府債務
約900兆円

政府債務 対GDP比



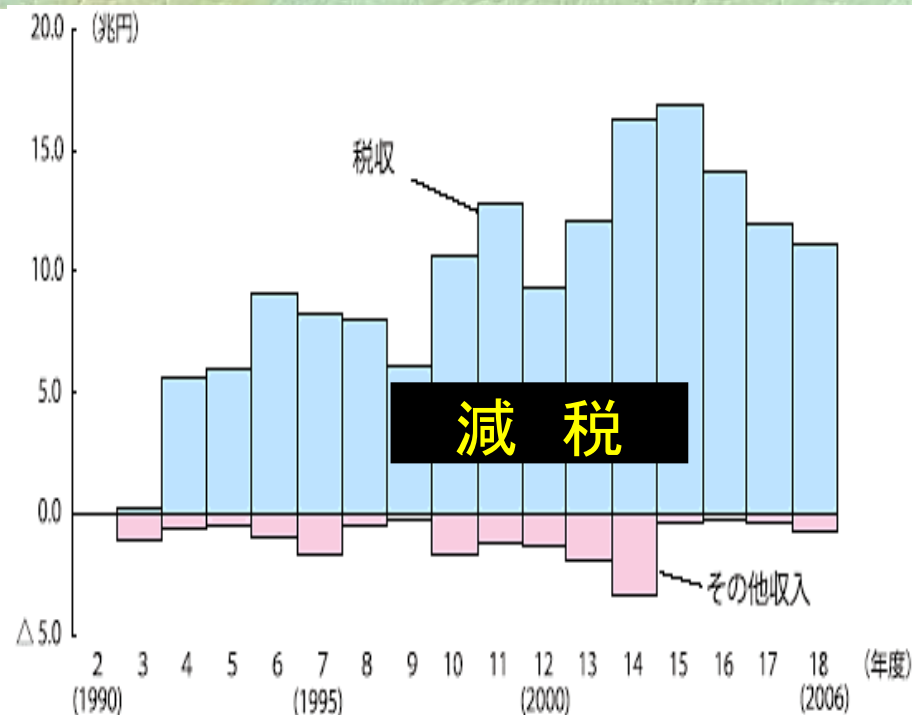
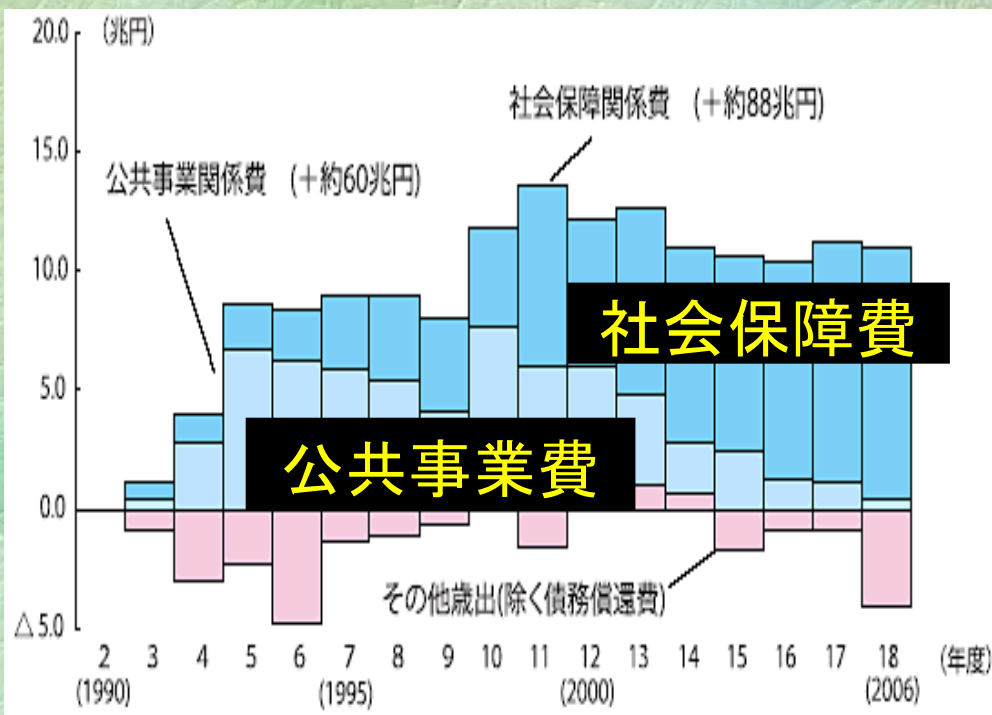
(出典)財務省『日
本の財政を考
える』

国債残高の増加要因

● 平成2～18年度の普通国債残高増加額：約375兆円

歳出の増加要因：+約129兆円

税収等の減少要因：+約142兆円

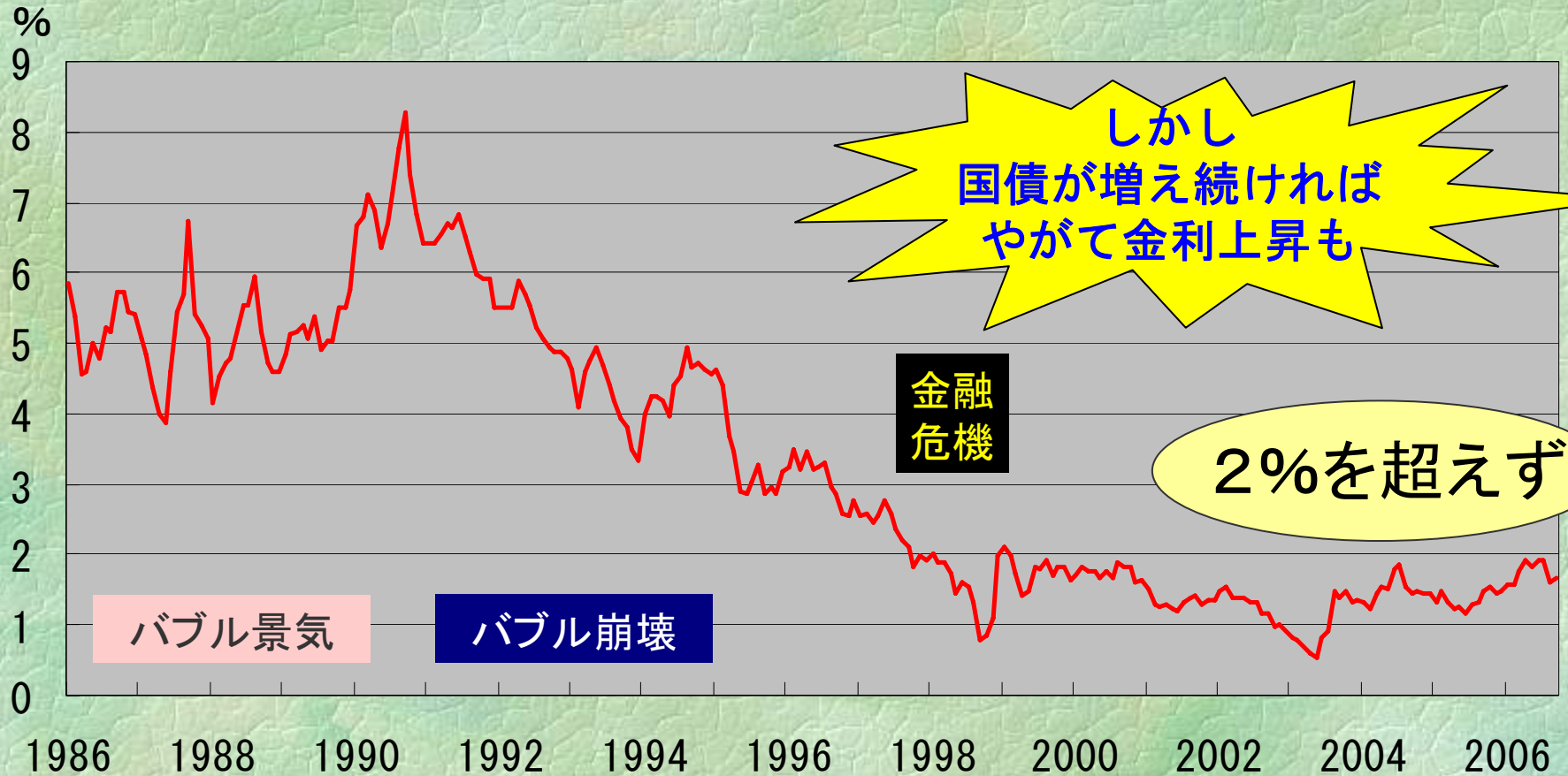


平成2年度の収支差分：+約45兆円

その他の要因：+約59兆円

(出典)財務省『日本の財政を考える』

国債金利



(資料) 日本銀行『金融経済統計月報』

今後の金利上昇要因

- 日本経済の好景気が持続
企業の高収益→金利上昇
- 国債残高の無節操な累増
放漫財政→歯止めのない国債残高累増
→国債の信用が低下(格下げとか)
→<貸し手>低い金利では貸せない
→金利上昇

これを断ち切るには、財政健全化

歳出(社会保障給付や公共事業)削減か増税が必要

金利上昇要因(つづき)

- デフレからインフレへ
インフレーション(持続的な物価上昇)
- インフレが強まると日本銀行は金利を上げる
銀行の銀行

日本銀行が、銀行間で貸借する金利を高めに誘導

→(短期)金利上昇

→ほどなく、預金金利上昇

- ゼロ金利政策の解除(2006年7月)
- 今後、日銀が利上げを検討か...

今後の金利上昇に備えて

- 金利上昇は**得**か**損**か
資産運用側－**得** → 金利上昇の恩恵は緩やかに
借入れ側－**損** → 金利上昇の負担は急に
- 我が家の金利上昇による影響を要チェック
- 金利上昇の時期のシグナルは？

日本銀行の金融政策
国債金利の動き
経済成長率の動き

日本経済を見る眼
を養うことが重要！

ご参考

さらに日本経済をわかりやすく詳しく知りたい方は
土居丈朗『アリとキリギリスの日本経済入門』東洋経済新報社



その続編...

日本経済新聞ウェブサイト

NIKKEI NET スマートウーマン

日替わり講座

アリとキリギリスの「景気のイイ話!?!」

NIKKEI NET Biz Plus

ビジネスコラム

アリとキリギリスの「納得!経済ニュース」